

第94回都市対抗野球大会

九回反撃明治安田生命延長戦制す

2万2459人の大応援団歓喜の大声援

東京ドームは試合前から応援の人々で入場券交付受付をするために長蛇の列
4年ぶり7回目の出場。声出し応援も3年ぶり各地区から電車・応援バスで近郊支
社より明治安田生命野球部の応援、この日を楽しみにドームへ大集合//

試合は両チームの投手の好投息詰まる展開で回が進んでいく。

明治安田生命は初回先頭打者中村(NTT 東日本からの補強選手)内野安打2番
新城レフト前安打無死2・1塁チャンス3番福岡キッチリと送りバンド成功1死3・
2塁4番森のレフト飛で3塁中村ホームへは走るが好返球でアウト併殺打。4回以降
8回まで5安打するも西部ガス村田投手直球とスライダーに5連続三振を含んで10
三振で得点なし。西部ガスはそれまで好投の高杉投手から6回裏1死後3番・4番
連続2塁打で先取点。0対1のまま9回表9番・1番倒れ2死ランナー無しから2
番新城レフトフェンス直撃の2塁打、3番福岡それまで1犠打レフト飛と2三振、
春季支部で首位打者の打球は左中間を破る同点タイムリー3塁打土壇場で同点の殊
勲打。

延長10回から今大会初のタイブレーク無死2・1塁、9回最終打者の次打者から
始まる。6番代打日置(新人)がライト前ヒットで満塁1番7番伊藤の打球はショート
ゴロで併殺打かと思えたが游撃手が落球の間に二人の走者がホームイン2点勝ち越
す。10回裏は9回から継投の中崎投手が三者凡退に抑え2回戦にコマを進めた。

2万2459人の大歓声が東京ドームに響き渡る。万歳三唱の大合唱。

3時間38分の熱戦に幕は下りた。

安打	2	2	0	0	0	2	1	2	2	1	12
明治安田生命	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
西部ガス	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
安打	1	0	0	0	1	2	2	0	1	0	7

バッテリー

明治安田生命 高杉(5回 1/3・1失点) 石毛(1/3回) 小玉(2回 1/3) ○中崎(2回) — 森川
 西部ガス 村田(6回 0/3) 高椋(1回) 田中(2/3回) 林田(1/3回) 内間(2/3回・1失点)
 岩崎(1/3回) ●大畑(1回・失点2) — 金沢

二塁打 永廣(2回) 岸本(8回) 新城(9回) 明治安田生命
 井手(6回) 安永(6回) 西部ガス
 三塁打 福岡(9回) 明治安田生命

	守備	名前	打席	打数	安打	打点	得点	四死球	犠打
1	游	中村 迅	5	4	1	0	0	1	0
2	二	新城 拓	5	5	3	0	1	0	0
3	一	福岡高輝	5	4	1	1	0	0	1
4	左	森 龍馬	5	4	1	0	1	1	0
5	中	永廣知紀	5	5	2	0	1	0	0
6	指名	野村 工	2	2	0	0	0	0	0
	指名	長瀬雄大	1	1	0	0	0	0	0
	代打	岸本朋也	1	1	1	0	0	0	0
	指名	鈴木萌斗	1	1	1	0	0	0	0
	指名	日置 航	1	1	1	0	0	0	0
7	右	泉澤涼太	3	0	0	0	0	0	0
	右	伊藤智也	2	1	0	0	0	1	0
8	捕	森川大樹	5	4	1	0	0	1	0
9	三	橋内俊治	5	5	1	0	0	0	0
		合計	45	40	12	1	3	4	1

7月13日

土田唯雄



近郊支社の応援バス行列



応援の皆様を受付窓口



可愛い応援団



試合前応援団に挨拶



チアリーダーの応援

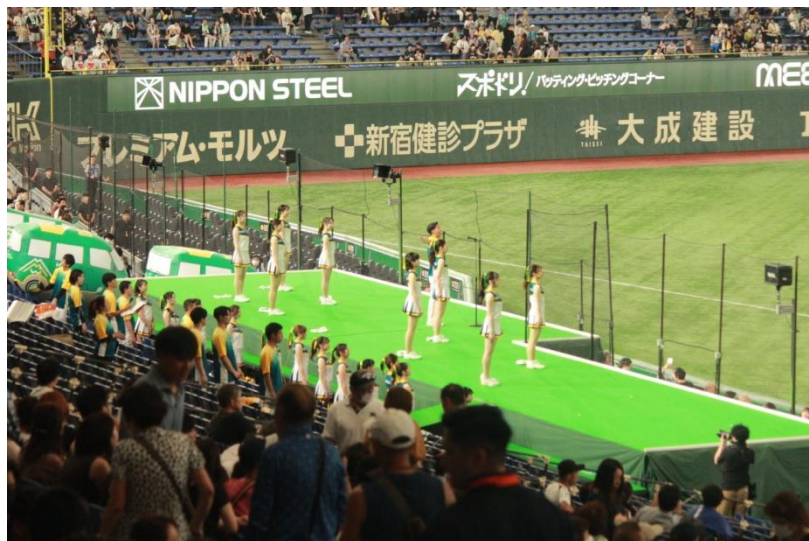




2万2459人の大応援団



永島社長の始球式



エール交換



試合前の守備練習(シートノック)



試合前の応援団に挨拶



ベンチに飾る必勝ダルマ



同点タイムリーの打撃福岡選手



殊勲の福岡選手三星



先発好投高杉投手



勝利投手中崎投手



勝利監督インタビュー

(写真の一部 Fecce book 明治安田生命野球部応援ページより)